

BricsCAD プロファイルコピーツール 説明書

図研アルファテック株式会社

(概要)

BricsCAD の "ユーザープロファイル管理" のうち、"インポート" と "エクスポート" 相当の機能を提供しています。

BricsCAD がインストールされている環境で実行することができます。

複写元 PC でエクスポートした環境ファイル(.arg)を、複写元の別のユーザー環境、または別の PC へインポートします。

インポートは異なる OS、ユーザー環境にインポートすることができます。

ダウンロードファイル: DenkiBPManager.zip

ダウンロードファイルを解凍します。

解凍後はBricsCAD 対応バージョン毎にフォルダが分かれています。更にバージョンフォルダ以下に

win32(BricsCAD 32bit 版用)フォルダと、x64(BricsCAD 64bit 版用)フォルダに分かれています。

ご使用のBricsCAD のバージョンとbit の種類をご確認の上、該当フォルダ内のモジュールをご使用ください。

(ツール名)

BricsCAD V15 64bit 用: DenkiBPManagerV15_x64.exe

BricsCAD V15 32bit 用: DenkiBPManagerV15.exe

BricsCAD V14 64bit 用: DenkiBPManagerV14_x64.exe

BricsCAD V14 32bit 用: DenkiBPManagerV14.exe

※DenkiBPManagerV**.exe の違いは BricsCAD のバージョンとなります。

インストールされている BricsCAD(移行元)のバージョンと同じ exe を実行してください。

(制限)

- ・インポート/エクスポートは同バージョンの BricsCAD 間で可能です。
- ・同じプロファイル名がすでに存在する場合は、同名でのインポートはできません。名称の変更が必要です。
- ・UNICODE の .arg ファイルのみ処理が可能です。

BricsCAD 標準のユーザープロファイル管理で作成された環境ファイル.arg ファイルは ANSI で作成されます。そのため、本ツールではインポートできません。本ツールのエクスポート機能をご使用ください。

- ・プロファイルの複数同時処理はできません。
プロファイルが複数ある場合は、個別にインポートして/エクスポートしてください。
- ・本ツールを実行時に、対象バージョンの BricsCAD がインストールされていなければ、メッセージを表示して終了します。

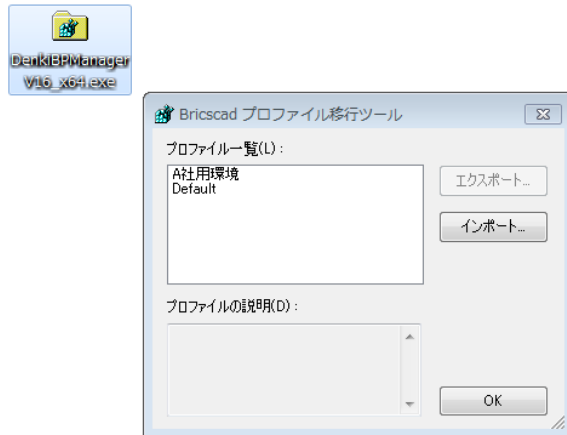
例) BricsCAD V15 64bit 版

A 端末(複写元): BricsCAD V15 64bit がインストールされ、プロファイルが作成されている状態

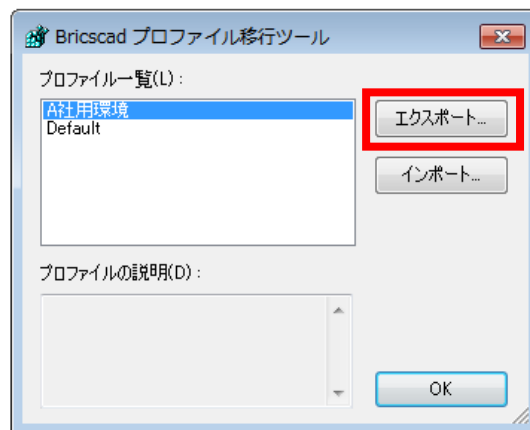
B 端末(複写先): BricsCAD V15 64bit をインストールし起動確認を行った状態

●操作方法 エクスポート

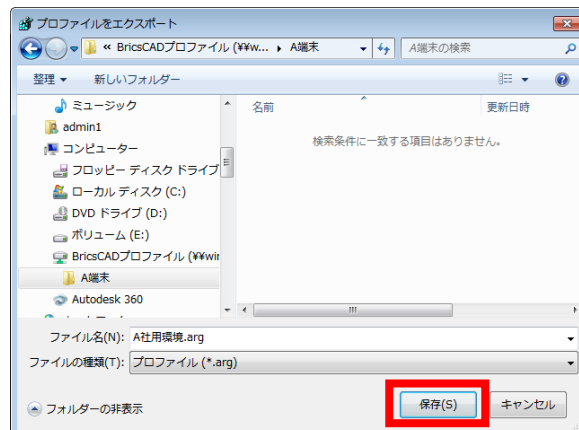
1. A 端末(複写元)に DenkiBPManagerV15_x64.exe をコピーします。
2. DenkiBPManagerV15_x64.exe ダブルクリックします。Bricscad プロファイル移行ツールが表示します。



2. プロファイル一覧には既存のプロファイルが表示されます。プロファイルを選択し[エクスポート]ボタンをクリックします。



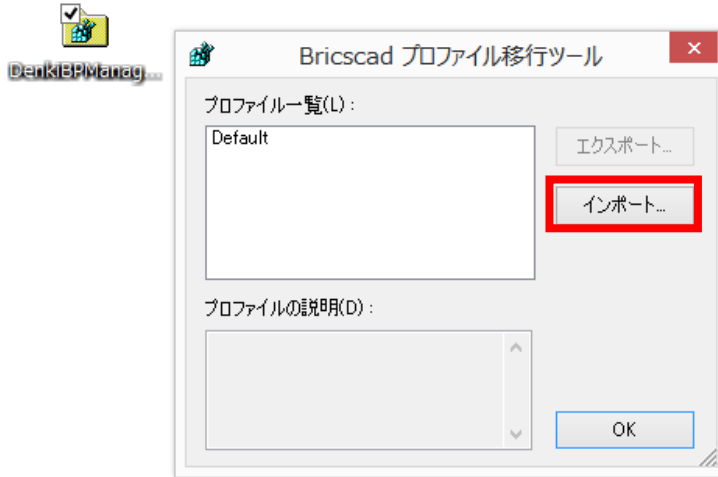
3. プロファイルをエクスポートウィンドウが表示します。
保存する場所を指定し、ファイル名を入力し[保存]ボタンをクリックします。



指定した場所に BricsCAD のプロファイルが作成されます。

●操作方法 インポート

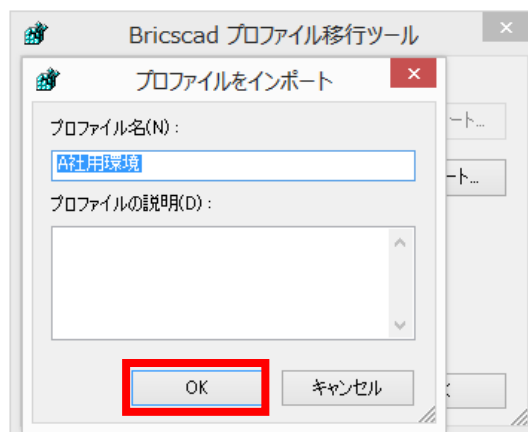
- 1.保存したファイルを移行先にコピーします。B 端末(複写先)に DenkiBPManagerV15_x64.exe をコピーします。
2. DenkiBPManagerV15_x64.exe ダブルクリックします。Bricscad プロファイル移行ツールが表示します。
- 3.[インポート]ボタンをクリックします。



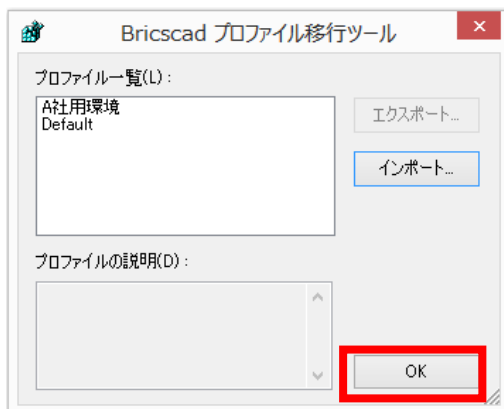
- 4.プロファイルをインポートウィンドウが表示します。インポートするファイルを選択し[開く]ボタンをクリックします。



- 5.プロファイルをインポートダイアログが表示します。ファイル名を確認し、[OK]ボタンをクリックします。



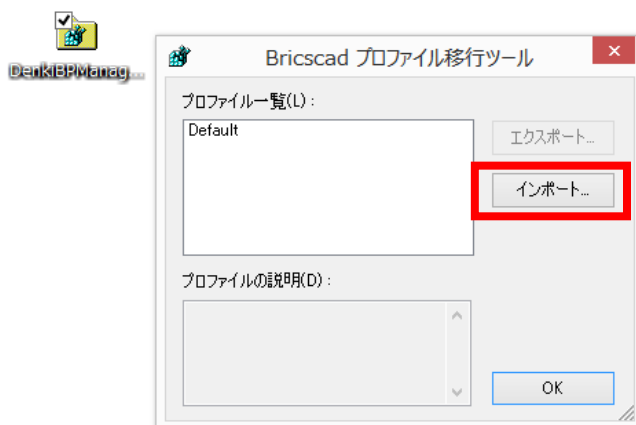
6. Bricscad プロファイル移行ツールダイアログに戻ります。[OK]ボタンをクリックし終了します。



● 既存のプロファイルと同名のプロファイルのインポート

本ツールでは、既存のプロファイル名と同名インポートをすることはできません。名前を変更してインポートを行います。

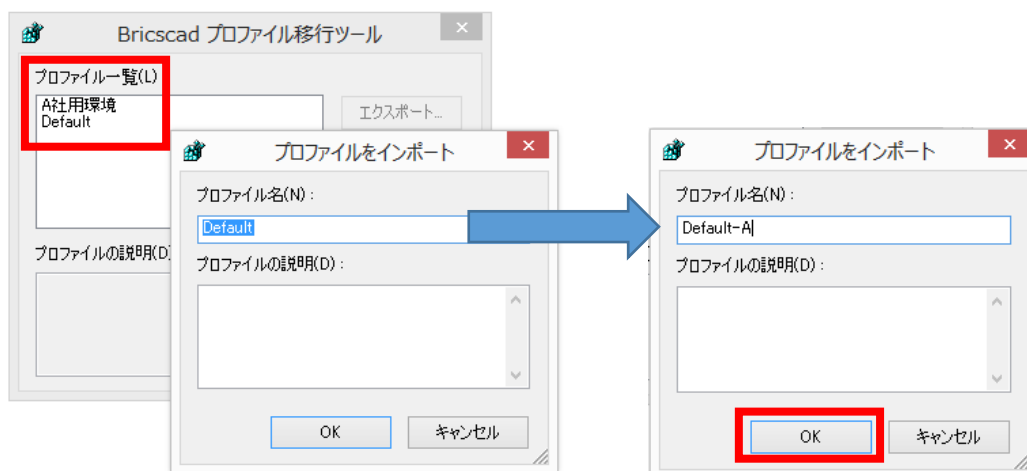
1. DenkiBPMangerV15_x64.exe ダブルクリックします。Bricscad プロファイル移行ツールが表示します。
2. [インポート]ボタンをクリックします。



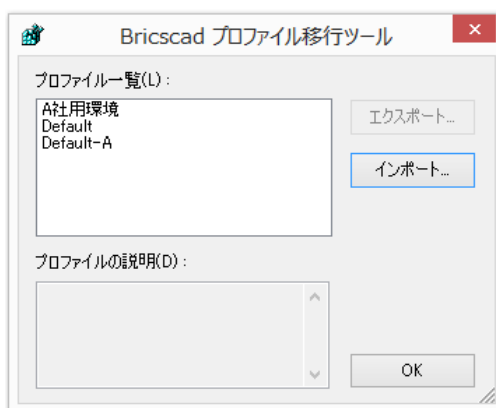
3. プロファイルをインポートウィンドウが表示します。インポートするファイルを選択し[開く]ボタンをクリックします。



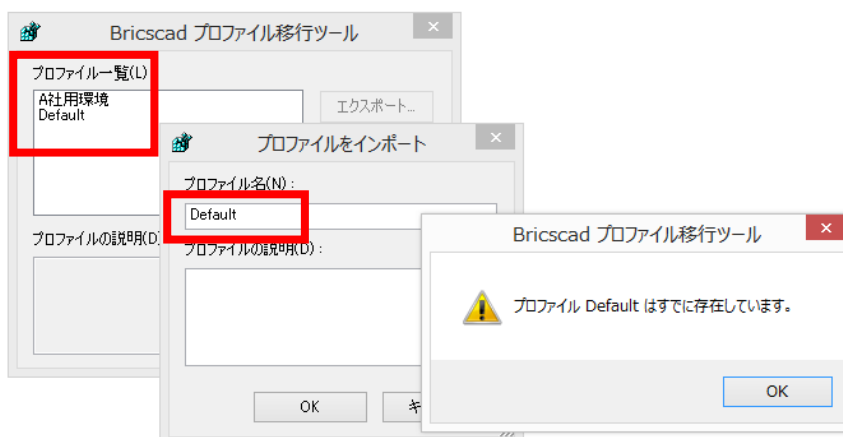
4. プロファイルをインポートウィンドウが表示します。インポートするファイルを選択し[開く]ボタンをクリックします。
5. プロファイル名を既存のプロファイル名とは異なる名称に変更し、[OK]ボタンをクリックします。



6. Bricscad プロファイル移行ツールダイアログに戻ります。[OK]ボタンをクリックし終了します。



既存のプロファイル名と同名で[OK]ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。



この場合は、プロファイル名を変更して、[OK]をクリックしてください。

●BricsCAD 標準のユーザープロファイル管理との違いについて

BricsCAD 標準の「ユーザプロファイル管理」

本ツール(Bricscad プロファイル移行ツール)

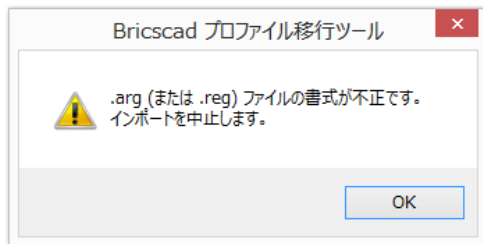


・"インポート" と "エクスポート" のみ提供しています。

・インポート時のエラーチェックを行います。

BricsCAD では、不正なファイルをインポートすると、空のプロファイルが作成されます。

インポート時にファイルの内容を確認し、適切な書式で無ければ、エラーを表示してインポートしません。



・エクスポートするプロファイルの内容

エクスポートするプロファイルのうち、LOCALAPPDATA、APPDATA、TEMP、USERPROFILE と同じパスを "%環境変数名%" で置き換えています。

例) C:\¥Users¥ログオンユーザー名¥AppData¥Roaming¥BricsCAD

→ %APPDATA%¥BricsCAD

そのため、ログオンユーザー名の違いなどで端末に無いパスのまま設定が登録されることはありません。

・インポート時のプロファイルの編集

Windows XP (Windows Server 2003)以前には LOCALAPPDATA 環境変数はないため、あらかじめ展開してからインポートしています。

BricsCADV16 以降では、プロファイルの書き出しにて環境変数パスに対応したため、本ツールは提供しておりません。

BricsCAD のユーザプロファイル管理をご使用ください。

以上